

ペースメーカー患者における胸郭インピーダンスと心音図検査の比較による心不全評価

黒木 乃綾¹、山本 都夢¹、亀谷 良介²、富永 新平²、青山 英和²¹あま市民病院、²あま市民病院

【目的】 ペースメーカー植え込み患者の心不全評価と管理は重要である。本研究ではペースメーカー患者を対象に、胸郭インピーダンス、AMI 社製心音図検査の心負荷係数、およびNT-proBNP を多角的に評価し、心不全の病態把握における有用性を検討した。【方法】 2025 年 5 月から 7 月における、あま市民病院ペースメーカー外来の患者 6 名を対象とした。定期フォローアップ時にペースメーカー由来の胸郭インピーダンスを測定。加えて、AMI 社製心音図検査による心負荷係数と、採血による NT-proBNP 値を測定した。【結果】 胸郭インピーダンスは平均 $65 \pm 12.9 \Omega$ 、NT-proBNP は平均 $1171.51 \pm 954.7 \text{ pg/mL}$ であった。両者の相関係数は -0.849 と強い負の相関を認めた。心負荷係数の判定は A1 が 3 名、A2 が 1 名、C が 1 名、D が 1 名であった。心負荷係数と胸郭インピーダンス値には負の相関傾向があり、心負荷係数と NT-proBNP 値には正の相関傾向を認めた。【結論】 胸郭インピーダンス、心負荷係数、および NT-proBNP は、ペースメーカー植え込み患者の心不全評価に有用な指標である。これらの多角的指標の組み合わせは、心不全の早期診断に貢献しうると考える。